

10月から羽村市では

小中学生の医療費が

所得制限なく 3割から 2割に軽減!



日本共産党は子どもの医療費無料化に市民の皆さんと力を合わせて取り組んできました。羽村市では平成18年4月からは、未就学のすべての子ども医療費が無料になりました。さらに、東京都が、平成19年10月から小中学生の医療費負担を2割にするための予算を組みました。羽村市は都の制度を活用して、今年10月から小中学生の医療費負担を3割から2割に軽減します。東京都の制度は所得制限がありますが、羽村市では、「所得制限はなし」です。

都内の多くの区や日の出町は、小中学生の医療費無料化を実施、あるいは計画(10月から実施)をしています。羽村市でも、一日も早く、小中学生の医療費を無料にするために、日本共産党はがんばります。

小中学生の医療費無料化を

都内の多くの区や日の出町は、小中学生の医療費無料化を実施、あるいは計画(10月から実施)をしています。羽村市でも、10月から小中学生の医療費無料化を実施するには、約2939万円必要とされています。

3月議会で、日本共産党市議の「小中学生の医療費無料化を」の一般質問に、市長は「多額の財源を要するので、市が単独で実施することは考えていない。」と答弁しました。しかし、税金の使い方を変えれば小中学生の医療費無料化は実施できます。日本共産党は、一日も早い実現のためがんばります。

平成19年度 木造耐震診断助成に加え 木造耐震改修工事助成が予算化されました

木造耐震診断助成	1件	5万円	20件分
木造耐震改修工事助成	1件	20万円	20件分

つい最近も、能登地方で大きな地震がありました。羽村市でも耐震対策を推進するよう日本共産党羽村市議団は、議会で何度も質問してきました。昨年10月から、木造耐震診断助成事業がはじまり、今年は、木造耐震改修工事についても予算化されました。

3月議会で、市長が答弁 「マンションの耐震診断助成制度も検討したい」

マンションの地震対策も重要です。3月議会で日本共産党市議は、「東京都は、マンション耐震診断の補助を行う区市町村に、助成をおこなう制度要綱を制定した。羽村市のマンションでもこの助成が受けられるように、羽村市はマンション耐震診断助成制度の制定を。」と質問しました。

市長は「都の計画を勘案して『羽村市耐震改修促進計画』を策定する。検討していきたい。」と答弁しました。



石原知事が「中学3年生まで 医療費負担をゼロにする」と公約

都知事選挙では、日本共産党と吉田万三さんが訴えてきた政策が、大きな反響をよびました。なんと石原都知事候補自身に「中学3年生まで医療費負担をゼロにする」と公約させたのです。この公約をあいまいにさせず、必ず実現させるために、日本共産党は、みなさんと力をあわせてがんばります。